電気・電子、情報機器、計測・精密

朝比奈 亜弓さん［平成 25 年 3 月修了］

㈱東芝

「身近にあるけどよく知らない、電気って何？」という好奇心から電気工学科への入学を決めました。授業や実験を通じて、情報、音響、電力分野等、電気に関する幅広い知識を学べたことで、ますます電気工学に興味を持ち、大学院進学を希望するようになりました。そこで、学部を 3 年間で卒業できる早期卒業制度を利用して大学院に進学し、より高度な専門知識だけではなく、研究成果を学会発表することでプレゼンテーション力も向上させることができました。幅広い分野の事業領域を持つ電機メーカーであり、女性にとって働きやすい環境が整っている東芝であれば、高い技術力を持ったエンジニアになるという私の夢をかなえることができると思い、就職先に選びました。

電気・電子、情報機器、計測・精密

坂井 良平さん［平成 25 年 3 月修了］

三菱電機㈱

近年の社会において、多くのものに“電気”が利用されていることから、私はこの電気について学ぶことが社会基盤を支えることにつながると感じ、電気工学科を志望しました。大学では電気に関する専門知識を学びましたが、4 年間では学び足りず、さらに電気について学びたいと思い、大学院に進学しました。大学院では、電気に関する専門知識を学ぶことはもちろん、それ以外にも研究を通して、問題解決能力、スケジュール管理能力、プレゼンテーション能力等を高めることができました。
また、この 6 年間の大学・大学院生活を通して、電気を生み出す社会インフラ事業に興味を持ち、これに携わりたいと考え、電機メーカーである三菱電機への就職を決めました。

電気・電子、情報機器、計測・精密

郭 東燮さん［平成 25 年 3 月卒業］

㈱日立製作所

バンドに励んでいるうちに音に興味がわき、音響工学を学ぶため電気工学科に入学しました。本学科では電子、音響、情報など幅広く学び、実験を通して理解を深めることができました。卒業研究では、携帯端末や多種多様のデバイスがインテリジェントにつながる M2M ネットワークに関する研究に取り組みました。近年スマートフォンの普及や SNS の発達に伴い、人々がネットワーク上で自由にコミュニケーションができるようになり、より安心・便利なネットワークシステムが望まれています。研究を通して、高い信頼性を持ったネットワークを作り、人と人をつなげる仕事をしたいと考え、通信ネットワークにかかわる事業への就職を決めました。本学科で学んだ経験を生かして安全・安心な通信ネットワークを作りたいと考えています。

電気・電子、情報機器、計測・精密

高橋 杏奈さん［平成 25 年 3 月卒業］

ヤマハサウンドシステム㈱

父が電気系の仕事をしていたので、子供のころから電気への興味がありました。将来、音楽にかかわる仕事がしたいという思いから、音響工学を学ぶことのできるこの学科に入りました。授業では電気工学の幅広い分野を学び、4 年次の 1 年間は音に関する研究を通して多くの知識と経験を身に付けました。人々に「音」を楽しんでもらいたいとの思いから、将来の仕事を選びました。実験実習で学んだ「ものづくり力」を生かす音響機器メーカーも視野に入れていましたが、音響空間という日常とはかけ離れた特別な空間を人々に提供したいと考え、音響エンジニアリング会社であるヤマハサウンドシステムへの就職を決めました。皆さん、将来の夢に向かって頑張ってください。

建設・工事

岡﨑 太朗さん［平成 25 年 3 月卒業］

㈱関電工

高校 3 年生の時、私は将来具体的な就職先を考えておらず、その中で電気工学科は幅広い分野への就職先がありとても魅力的に感じました。大学生活では毎週、授業の課題や実験レポートの作成に十分な時間をかけ追われ大変でしたが、電気工学の知識や実験器具の使い方など学ぶことができました。私の就職先は建設業界です。2011 年に起きた大震災での計画停電の経験もあり、あらためて電気が欠かせないものだと感じ電気にかかわる仕事に就きたいと思いました。建設業界というと電気のイメージがないかもしれませんが、大型施設内の電気設備工事や送電線や配電線の設置およびメンテナンスなど電気にかかわる仕事がたくさんあるので、4 年間学んだ知識を生かしていきたいと考えています。

建設・工事

松本 達也さん［平成 25 年 3 月修了］

㈱大林組

私たちの生活にとって電気は身近なものであり、欠かせないものです。電気は生活を豊かにするもので、電気について学び、人々の暮らしをより豊かにしたいと思い、電気工学科への入学を決めました。授業と実験では電気の基礎と機器等の使い方を学び、研究では自ら考える力を学び、さまざまな分野へ応用する知識を身に付けました。
私の就職先は建築業界です。電気は建築業界にも必要とされており、建物に命を吹き込むための重要な仕事と聞き、興味を持ちました。そして、建築業界では世界に 1 つだけのスケールの大きいものづくりができるので、私は歴史に残るような建物を設計したいと思い、建築業界に進むことを決めました。電気工学科で学んだことを社会人になっても生かしていきたいと思います。

輸送用機器、機械・印刷

柳本 聖月さん［平成 25 年 3 月修了］

凸版印刷㈱

高校時代は音響に興味がありましたが、就職のことも考えて幅広い分野で活躍できることを学びたいと思っていました。そこで出合ったのが、電力や情報だけでなく、音響工学も学べる日大理工の電気工学科でした。私は実験や研究を通して、電気の知識はもちろん、ものづくりの面白さ、人とのかかわり合いやチームワークを学び、物事を進めていく上でのプロセスを身に付けることができました。これは座学だけでは学べないことで、社会に出る上で大きな武器になったと思います。この学科でさまざまなことを学ぶうちに入学当初に興味のあった音響以外にも魅力を感じ、もっといろいろなことにチャレンジしたいと思いました。そこで就職は事業領域が多岐にわたる凸版印刷を選びました。

輸送用機器、機械・印刷

山内 亮佑さん［平成 25 年 3 月卒業］

日産自動車㈱

高専出身の私は電気工学科に編入という形で入学しました。高専で 5 年間、機械・電気・情報の 3 分野を学んだ上で、今後電気の分野がますます必要になると思い電気工学科への進学を決めました。私は高専時代、各分野を広く浅く勉強していたので、日大にきて電気分野の深いところをたくさんの実験・講義を通して学ぶことができました。就職に関しては、自動車業界に絞って就活しました。理由は「車が好きだから」これだけです。自動車といえば機械のイメージが強いですが、電気自動車など電気分野の活躍する場がたくさんあると思うので、電気工学科で培った土台を生かし、日産という会社で新しいことをどんどん学んで、活躍していきたいと考えています。

運輸、電力・ガス

髙橋 寛孝さん［平成 25 年 3 月修了］

東日本旅客鉄道㈱

理工系志望の私が電気工学科を選んだ理由は、「なんとなく面白そう」だったからでした。入学してからの授業は想像もしていなかった新たな電気の分野を教えられ、与えられたさまざまな実験のテーマをこなしていくうちに、電気が通信や音響、計測などさまざまな分野に応用され、生活に密着したあらゆるものの礎として用いられ、さらに可能性を広げていることに気づかされました。日常を支える仕事をしたいと考え、東日本旅客鉄道を選びました。鉄道は日々進化する技術を生かし、産業や人々の日々の生活を支える存在です。学んできた電気の知識を生かし、縁の下の力持ちとして働いていきたいと思います。

運輸、電力・ガス

黒岩 高行さん［平成 25 年 3 月卒業］

関西電力㈱

私は、配電工事の仕事をしている父の姿を見て電力の安定供給を支えるという仕事に大きなやりがいを感じ、電力会社で働きたいと高校のころから考えていました。そのため電力に関する知識を学ぶことができる電気工学科を選びました。講義や実験では電気の基礎である電気回路などから送配電工学、発電工学などの専門知識まで幅広く学べ、研究室では再生可能エネルギーである波力発電について学ぶことができました。そして現在、日本の電力業界をけん引する立場にある関西電力であれば、大きな社会貢献ができると考え志望しました。今後、大学で学んだ知識を会社で生かし、より良い電力システムを構築していきたいと思います。

公務員

渡邉 惠太さん［平成 25 年 3 月卒業］

静岡県庁

私は高校生の時、これからの将来エコでクリーンな発電として注目されている太陽電池に興味を持ち、また将来、電気工学で人々の生活に携わる仕事に就きたいと考えていたので電気工学科に入学しました。入学当初は電気工学の勉強が難しく理解しづらかったのですが、実験を通して理解していき電気工学の知識を少しずつ身に付けていくことができました。また 4 年生の研究では自分が興味を持っていた太陽電池についてとことん研究し理工学部学術講演会で発表したことで、より自分の知識や技術を向上することができました。静岡県庁ではこの 4 年間に身に付けた太陽電池に関する知識や技術を生かして、ソーラー発電関係などの部署で人々の生活を支えていきたいです。

進学

望月 摩耶さん［平成 25 年 3 月卒業］

日本大学大学院理工学研究科電気工学専攻

身の回りのいたるところにある「電気」は、私たちの社会生活に欠かすことのできないものです。電気工学科では電気について幅広く学ぶことができると考え、入学を決めました。授業には基礎科目に加えてたくさんの専門科目があり、その中から興味があることをじっくりと探すことができました。私は特に音響工学に興味を持ったので、4 年次の 1 年間は音に関するテーマを中心に研究を精力的に行いました。また、御茶ノ水という恵まれた環境にあるキャンパスで大学生活を過ごせたことも私の大きな財産になっています。卒業後は、さらに高度な専門知識と研究力を身に付けるため、大学院に進学します。将来の目標に向かって頑張っていきたいと思っています。